

11月のささやまっこだより

令和5年11月1日
篠山保育園
園長 足立善一郎



「天高く 馬肥ゆる秋」、子どもたちの体もエネルギーがふつふつとわきでてくる感じが伝わってきます。園長の立場から子どもたちを客観的にみていると、“成長しているなあ”と思う場面に出くわします。今まででしたら、競争心丸出しで友だちと物の取り合いになっていた場面で、「先にいいよ」と譲り合っている姿がいろいろなところで見られます。ここに至るまでは大変だったと思います。自分自身も、保育士も、友だちも!毎日の生活の繰り返しの中で、自分にとって気持ちよく次に進む方法を実感した時に“譲る”という行為ができるようになったのではないかと推測します。

又、“人のためにしてあげる”ということもできてきています。友だちが困って泣いているときに、何で困っているかを鋭く見極め声かけをしています。年下の子が泣いている場



面に「どうしたの」と聞いても泣き続けます。泣いている子がスコップを持って、いるのに気付くと「カップをとられたの?」の声かけにうなずきます。周辺を見渡し余っているカップを持ってきてくれて一段落。この気持ちが芽生えるためには、その子がそれまでにどれくらい自分の気持ちを受け止めてもらってきたかが大切。受容されることでこういう思いが芽生えるのだと思います。今度は、カップを探してもらった子が大きくなったら同じようなふるまいをしてくれることでしょう。

「励まし合い 高良山登頂へ！」

10月19日、ばら組の子どもたちは高良山の“森林つつじ公園”まで登りました。“気合は十分”最後までみんなで励まし合い登りきることが目標です。すれ違う登山者の方に「おはようございます」とあいさつをし、気持ちを高めているようでした。森の中では鳥がさえずり、台風で倒れたのか大木が登山道の上にトンネルのように横たわり「わくわくドキドキ」といった感じでした。自然を満喫しながら約1時間、森林つつじ公園に到着しました。山頂から街並みを見た時に、歩いてここまで来たことに驚いていました。そして、満足いっぱいの笑顔でした。そして、家族が作ってくれたお弁当は、格別においしかったようです。



「ささやま幼年消防隊 出動！」 11月9日～15日は『秋の全国火災予防運動週間』です。啓発活動の一環で11月9日(木)“ささやま幼年消防クラブ”(ばら組)がパレードを行います。第一分団のポンプ車を先頭に、法被姿のばら組さんが拍子木を打ちながら火災予防を呼びかけます。消防本署から署長さんとはしご車が参加します。保育園出発(13:00)→医大通り→市役所からJR久留米駅方面→中央町問屋街→市役所→裁判所通り→園到着(13:45)とまわります。お時間がありましたら、応援の声かけをお願いします。(雨天中止)

11月の行事予定表

- 9日(木) 防火パレード(ばら組)
- 11日(土) すまいる(すみれ、たんぽぽ組) 園内研究会
- 17日(金) 避難訓練
- 24日(金) 誕生会

13日、27日…えいごであそぼう(ばら組)
6日、20日…えいごであそぼう(ふじ組)

12月の行事予定表

- 2日(土) 保育展準備
- 3日(日) 保育展
- 6日(火) 第2回歯科検診
- 13日(水) もちつき会、お弁当の日
- 15日(金) 誕生会
- 16日(土) 園内研究会
- 20日(水) 避難訓練
- 25日(月) クリスマス会
- 28日(木) 保育納め

PM2:00 迄のお迎えをお願いします。

給食はありませんのでお弁当をご持参ください

11日…えいごであそぼう(ばら組)

マラソンが始まります

もも、ふじ、ばら組さんは11月1日からマラソンが始まります。各クラス曜日を決めて走ります。9:50から準備体操を始めます。

お知らせ

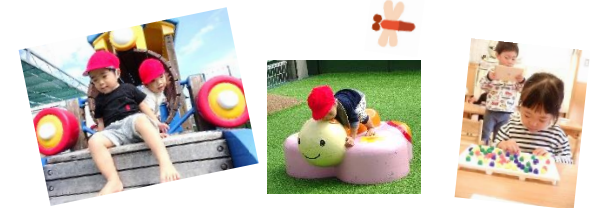
本園には特に衣替えはありませんので、登降園時の服装は、各自の判断でお願いします。(長袖ポロシャツ、トレーナーも着用してもらって結構です)

バザー協力をお願い

12月3日(日)に保育展が開催されます。同日、事業後援会(保護者会)のバザーが行われ、その一つに「物品バザー」を予定しています。これは、皆さんの家庭にねむっている未使用の物品や贈答品を寄付していただき、販売するものです。詳細は後日案内を配付しますので、各家庭で品物を集めておいて下さい。(きれいな衣類、靴、鞆、洗剤類、タオル類、食器類、電化製品【作動するもの】etc…)

案内のお手紙配付後に、園にお持ち下さい。

事業後援会会長 平山直人



かわいがり子育て「質問箱」より「お友だちに乱暴します」4歳

『保育園で友だちに噛みつきました。お友だちのママから「乱暴だ」と注意されたこともあります。乱暴な性格を変えられますか?』

乱暴というか、攻撃性というのは欲求不満の現われであることが少なくありません。生まれつき欲求が強いこともありますが、ご両親が子どもに対して「こうしてほしい」「こんなふうになんか成長してほしい」という要求をたくさんしているため、本人が欲求不満になっていることもままあります。子どもの将来に夢を託すのは、当然ですが、それも度を越せば、命令になってしまいます。こんな場合は、強く叱って頭からおさえつけようとする逆効果。乱場はおさまらないでしょう。むしろ「あなたはどうしたいの?」と本人の望みを聞き、お母さんもその望みに応えるように努力をします。何週間も子どもに変化が見られないかもしれませんが、ある日から、突然、変わってきます。

「子育てでいちばん大切なこと」佐々木正美:著